

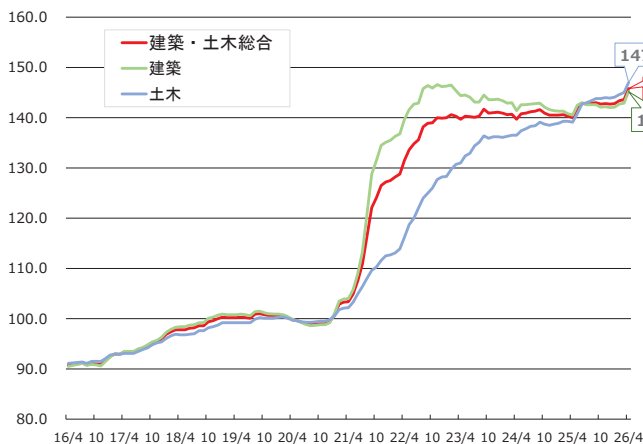
積算資料 建設資材価格指数

ER 一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年4月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	145.8	+2.2	+5.8
建築	145.2	+2.3	+4.7
土木	147.0	+2.0	+7.9

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+28.6大阪●コンクリート二次製品：+4.7那覇●瀝青材：+31.4札幌、31.0仙台、+28.7高松、+28.1新潟、+26.4広島、+25.2福岡、+25.0名古屋、+23.1大阪、+19.6那覇、+18.4東京●再生アス混合物：+24.4東京●普通鋼鋼材：+3.5東京、+3.1仙台・名古屋、+2.9那覇、+2.8新潟、+2.5広島、+1.8高松、+1.7大阪、+1.4福岡	
建築	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+28.3大阪●コンクリート二次製品：+7.3那覇●再生アス混合物：+24.4東京●普通鋼鋼材：+4.2東京、+3.7那覇、+3.4新潟・名古屋、+3.1仙台、+3.0広島、+2.9高松、+2.3大阪、+1.7福岡●木材：+0.4名古屋、+0.3仙台・広島、+0.2新潟・大阪・高松・福岡、+0.1札幌・東京	
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コンクリート：+29.3大阪●コンクリート二次製品：+0.5那覇●瀝青材：+69.3東京・名古屋・大阪・広島、+66.3福岡、+65.3仙台、+64.5札幌、+64.4新潟・高松、+51.1那覇●再生アス混合物：+24.4東京●普通鋼鋼材：+3.1仙台、+2.5名古屋、+2.1新潟、+1.7東京・広島、+1.6沖縄、+1.1福岡、+0.6大阪、+0.4高松	

指数集計対象資材の市況

4月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比2.2ポイント上昇の145.8となり、3か月連続で最高値を更新した。前月からの上昇が2ポイントを超えるのは2022年8月調査以来、約4年振り。大阪地区の生コンクリートの上昇に加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格急騰を受け、瀝青材の価格も上伸している。東京地区の再生アス混合物価格も大幅上伸となったが、これは運搬コスト上昇分の価格転嫁が先行したことによるもので、今回の瀝青材上昇分の製品価格への転嫁交渉は今後本格化する見込み。そのため、今後も資材市況は全般的に強含み推移となる見通しで、指数も上昇傾向が続くそう。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212